

ブラジル株式オープン

<3111>

追加型投信／海外／株式

繰上償還 2022年11月15日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジルの株式に投資し、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	14,818円34銭
	純資産総額	412百万円
償還期	騰落率	52.0%

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0311120221115◇

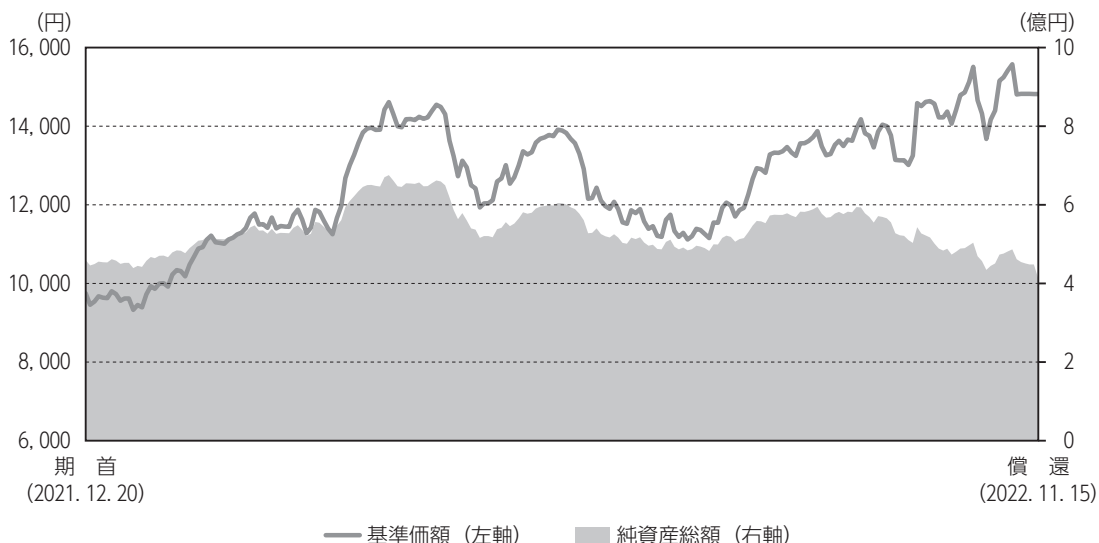
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：9,748円

償還時：14,818円34銭

騰落率：52.0%

■基準価額の主な変動要因

ブラジル株式に投資した結果、ブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したことやブラジル株式市況が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 12. 21～2022. 11. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	210円	1.671%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,594円です。
(投 信 会 社)	(100)	(0.796)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(100)	(0.796)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0.079)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	16	0.125	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(16)	(0.125)	
有価証券取引税	1	0.011	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.011)	
そ の 他 費 用	22	0.172	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(12)	(0.098)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(9)	(0.072)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	249	1.979	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

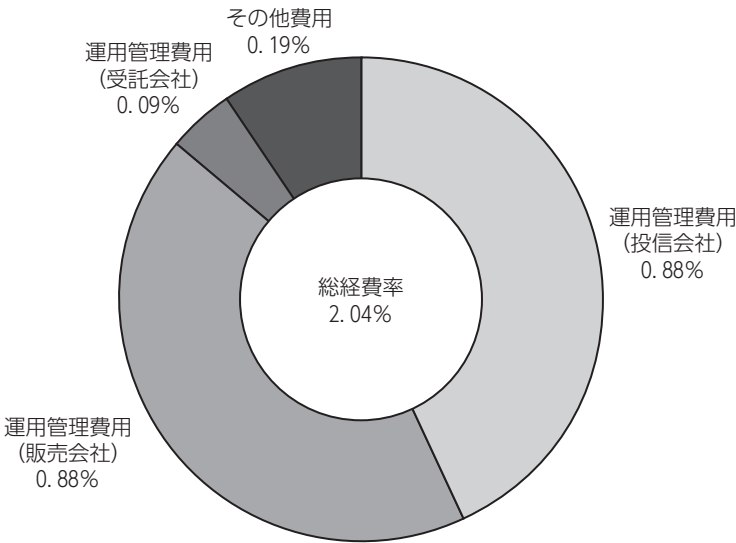
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.04%です。



(注 1) 1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注 3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2017年11月15日の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 参考指数はボベスパ指数（円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2017年12月20日 期初	2018年12月20日 決算日	2019年12月20日 決算日	2020年12月21日 決算日	2021年12月20日 決算日	2022年11月15日 償還時
基準価額 (円)	12,692	12,385	14,589	11,274	9,748	14,818.34
分配金 (税込み) (円)	—	0	600	0	0	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△2.4	22.6	△22.7	△13.5	52.0
ボベスパ指数 (円換算) 騰落率 (%)	—	△0.8	25.2	△22.6	△10.7	39.2
純資産総額 (百万円)	824	712	730	556	459	412

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ボベスパ指数（円換算）は、ボベスパ指数（配当込み、ブラジル・リアルベース）をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

設定以来の投資環境について

(2009. 2. 27 ~ 2022. 11. 15)

■ブラジル株式市況

ブラジル株式市場は上昇しました。

ブラジル株式市場は、当ファンド設定時より、各国政府が景気刺激策を打ち出したことなどを受けて上昇しました。2010年から2015年にかけては上値の重い展開となりましたが、2016年から2019年にかけては、中国景気の減速懸念が後退したことに加えて、ブラジルが段階的に利下げを実施しブラジル国内の景気見通しが改善したことなどが好感され、上昇しました。2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気減速懸念が強まると、欧米市場の急落とともにブラジル株式市場も下落しました。3月下旬以降は、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展やロックダウン（都市封鎖）解除などを背景に、世界的に景気回復期待が強まったことを受けて上昇しました。2022年に入ってから、ロシアによるウクライナ侵攻などを受けて資源価格が上昇したことも、ブラジル株式へのプラス材料となりました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落（円高）しました。

ブラジル・レアルは、当ファンド設定時から2014年にかけては方向感のない動きとなりましたが、2015年に入ると、ブラジルや中国などにおける景気悪化が懸念されたほか、ブラジル国内における汚職問題や政局不安などが悪材料となり、下落しました。2016年以降は、ブラジル国内における政権交代を受けた改革期待や原油価格の上昇が相場を下支えする場面もありましたが、米国金利の上昇を受けて新興国通貨への売り圧力が強まったほか、米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことなどが悪材料となり、軟調な推移となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、円高ブラジル・レアル安が進行しました。2021年以降は、景気回復に伴いブラジル中央銀行が段階的に利上げを実施したことなどを受けて、ブラジル・レアルは上昇しました。資源価格の上昇も、ブラジル・レアルへのプラス材料となりました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じてブラジルの株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

主としてブラジルの株式に投資し、中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行います。また、経済情勢や業界動向等の分析を行うとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。セクター別では金融や素材の組入比率を高位とします。

信託期間中のポートフォリオについて

（2009. 2. 27 ～ 2022. 11. 15）

■当ファンド

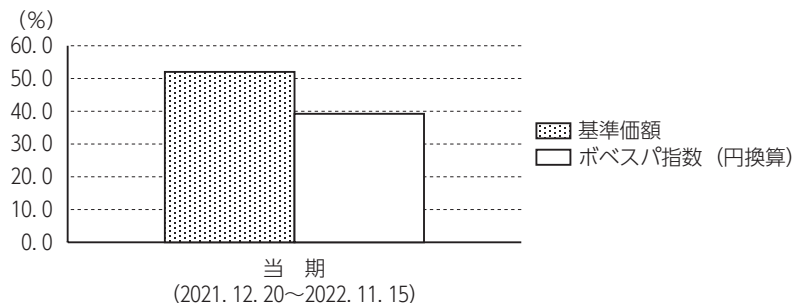
「ダイワ・ブラジル株式マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位に保ちました。

■ダイワ・ブラジル株式マザーファンド

株式組入比率を高位に保ち、成長性や株価バリュエーション等の分析に基づき、ポートフォリオを構築しました。外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しました。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けました。セクター別では金融や素材の組入比率を高位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1 万口当り、第 1 期500円、第 2 期50円、第11期600円の収益分配を行いました。第 3 期～第10期、第12期～第13期の収益分配につきましては、基準価額の水準等を勘案して、見送らせていただきました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



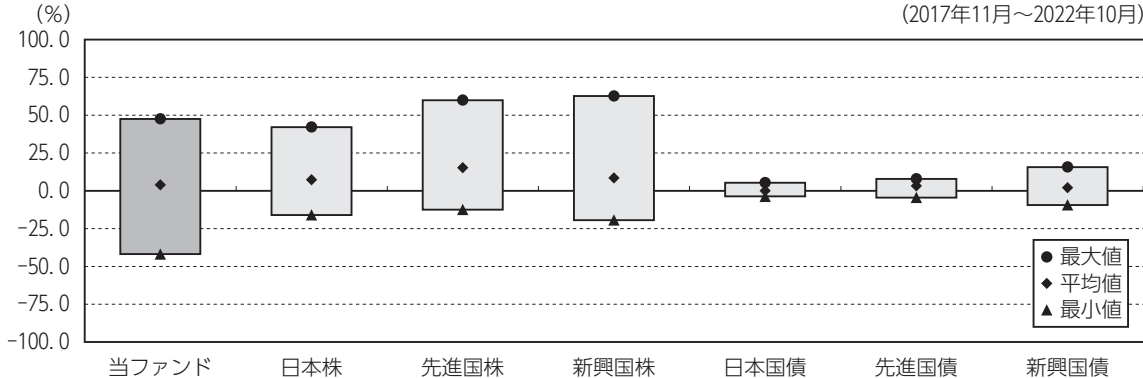
当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限（設定日：2009年 2 月27日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主 要 投 資 対 象	ベビーファンド	ダイワ・ブラジル株式マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ブラジル株式マザーファンド	ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにブラジルの企業のＤＲ（預託証券）
ベビーファンドの運用方法	運用の効率化をはかるため、当ファンドにおいて株価指数先物取引等を利用することがあります。 ※株式と株価指数先物取引等の時価総額の合計額は、当ファンドの純資産総額に、設定・解約申込金額を加減した額程度を上限とします。	
マザーファンドの運用方法	①主としてブラジルの株式（※）に投資し、中長期的にベンチマーク（ボベスパ指数（円換算））を上回る投資成果をめざして運用を行ないます。 ②経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。 ④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80％程度以上に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 ※株式…ＤＲ（預託証券）を含みます。	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2017年11月～2022年10月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国債
最 大 値	47.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
平 均 値	3.8	7.2	15.3	8.4	0.0	3.2	2.0
最 小 値	△ 41.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.7	△ 4.5	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他の一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016. J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2022年11月15日
純資産総額	412,071,273円
受益権総口数	278,082,005口
1万口当り基準価額	14,818円34銭

* 当期中における追加設定元本額は22,756,623円、同解約元本額は216,146,867円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。